

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		砂防(通常砂防)		路河川名等	丸山沢		
事業毎の通番		1	市町村名	佐久市	箇所名(ふりがな)	丸山(まるやま)	
事業概要	事業目的	丸山沢は、一級級河川雨川へ流入する土石流危険渓流であり、斜面の荒廃により大雨時における土砂流出が懸念されている。保全対象には、地域防災計画に位置付けられた丸山公会場があり、県道が遮断された場合には、集落が孤立化するおそれもあることから、砂防堰堤工を整備し、土砂災害を未然に防止する。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等	砂防法		
	関連する事業、計画等						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家3戸(孤立集落45戸)、県道下仁田白田線、丸山公会場(地域防災計画における避難所)					
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	4.1	国庫	その他	県債
	全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤1基		150,000	75,000	67,500	7,500
年度事業内容(主な工種)	測量・調査・設計 一式		14,200	8,050	7,245	805	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家3戸(孤立集落45戸)、県道下仁田白田線、丸山公会場(地域防災計画における避難所)					
	間接的効果(定量的・定性的)						
評価の視点	必要性	【保全人家戸数】3戸(孤立化集落45戸) 【保全公共施設】県道下仁田白田線、丸山公会場 【保全災害時要援護者関連施設】なし 【避難場所】丸山公会場				評価	A
	重要性	【災害履歴】 【交通影響】県道遮断により集落が孤立 【位置付け】地域防災計画に位置付けあり(土石流危険渓流、避難場所)				評価	B
	効率性	【費用対効果】4.1 【早期効果発現】事業期間:4年間 【工法等比較検討】堰堤配置、形式等について比較検討あり 【総合調整】治山事業と調整済み				評価	A
	緊急性	【地形地質】地質が脆弱(火山岩) 【流域植生】放置林 【平均渓床勾配・土砂整備率】勾配:約6°・整備率:0% 【危険地区】土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域あり				評価	A
	計画熟度	【情報共有】関係者を中心に周知 【地域要望】佐久市から要望があり協力的 【合意形成】 【住民参加】				評価	C
	部意見	当該渓流の保全対象には、県道、避難場所が含まれており、県道遮断により集落の孤立化のおそれもあることから、速やかな土砂災害対策が必要である。	行政改革課意見	保全対象に人家、県道、公民館があることから、必要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



全体計画図



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	丸山沢は、一級級河川雨川へ流入する土石流危険渓流であり、斜面の荒廃により大雨時における土砂流出が懸念されている。また、平成19年に指定した土砂災害防止法に基づく特別警戒区域内に地域防災計画に位置付けられた1次避難所の丸山公会場があり、さらに県道が遮断された場合には、集落が孤立化するおそれもある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成19年に指定した土砂災害防止法に基づく特別警戒区域内に1次避難所の丸山公会場が存在することから、佐久市から事業の要望が出されている。
③事業説明等の経緯	事業実施が確定次第、地元説明会を開催予定。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事に伴う地形形変を極力少なくするよう計画する。
⑥地域活性化への影響と配慮	なし
⑦その他	なし

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 36-11-13.95
東経:E 138-31-48.63